



TWEET

理想の母親像と現実の私

寛容で心に余裕があってキラキラしている。きちんと食事を作る。怒るのではなく叱る。感情的になっても叩かない。これが私の思い描く理想の母親像でした。

現実の私は、襟と袖がヨレヨレの服を着て、ボサボサの髪を1つに束ね、息子が『マンマ!』と叫ぶ時は簡単に食べられるパンやバナナなどを食べさせる。『ご飯の用意するから待ってね』なんて女神様のように優しく言ってもムダ! 息子はマンマを連呼するのみ! 虐待のニュースを聞いたたびに、息子に手をあげる事だけは絶対にしないと決めていたのに、一度だけ手をあげてしまった。息子が1歳半の頃、3日続いた高熱も下がり久々の外出へ。しかし機嫌が良かったのは最初の5分。それ以降はずっと機嫌が悪い。泣き叫ぶ声が大きく、通りすがりのお婆さんにはうるさいと言われ、周りの視線が突き刺さる。『早く泣き止まないと』気持ちだけが焦ってパニックになり私も涙が溢れ出た。授乳室に逃げ込みおっぱいを飲ませ、これで落ち着くだろうと安心していたのに、また泣き叫ぶ。何をしても泣き止まない。周りは冷たく誰も助けてくれない。『大丈夫?』と声をかけてくれる人が一人でもいたら救われたのかな。『もうイヤ!』と何度も心で叫んで急いで帰った。家に着いても泣き続ける息子に『いい加減にして!』と感情的に怒鳴り、お尻と太ももを力強く叩き、私はトイレに閉じこもった。しばらくしてリビングに戻りオムツを変えようと息子のズボンをおろすと、太ももが赤くなっていた。私は何て最低な事をしたんだ。そしてお腹の発疹に気付いた。突発性発疹=不機嫌病と呼ばれる事をもっと早くに知っておけば…叩いてごめんね…最低なママでごめんね…と泣いた。

息子は2歳2か月になり、イヤイヤ期と自分でやりたがるヤルヤル期に突入中。成長の証と思える時があれば、勘弁して〜と参ってしまう時の方が多く、正直イライラもするので、息子の癩癩が収まらない時は少し放置して落ち着くのを見守る事もあります。

私にとって初めての育児は想像以上に大変で辛くて孤独で息がつまるものでした。でもぐるんぱに通うようになってからは、一人で頑張らないでもっと人に甘えて頼って良いんだと思えるようになりました。そして、悩みは溜め込まないで聞いてもらう事! すると気持ちがとても元気になります。話を聞いてもらう事、それは簡単な事だけでも、育児に自信がなかった私には少し勇気がある事でした。でも話せて本当に良かったです。

旦那にも1日の出来事を話していますが、私の気持ちが楽になった旦那の言葉を1つ『1年前の悩みって覚えてないやろ。あまり深く思い悩まずに息子の成長を記憶に残した方が楽しいで!』と。確かに断乳すべきかあんなに悩んでいたのにすっかり忘れてる(笑)旦那よ、たまには良い事を言うやん!(笑)

1日を無事に終え可愛い息子の寝顔を見ると、どんなに疲れていても癒されます! 不思議ですね。

ちなみに理想の母親像はとっくに捨てました。良い母親ぶるのは疲れるだけ。肩の力を抜いて、周りに甘えて頼りながら、私なりの母親になっていこうと思います。

Uママ

このコーナーはぐるんぱママの「つぶやき」を随時掲載します。お楽しみに! 投稿も大歓迎です!